

[Redacted]

[Redacted]

2009年7月7日

S

2010年6月22日

隠された水俣病

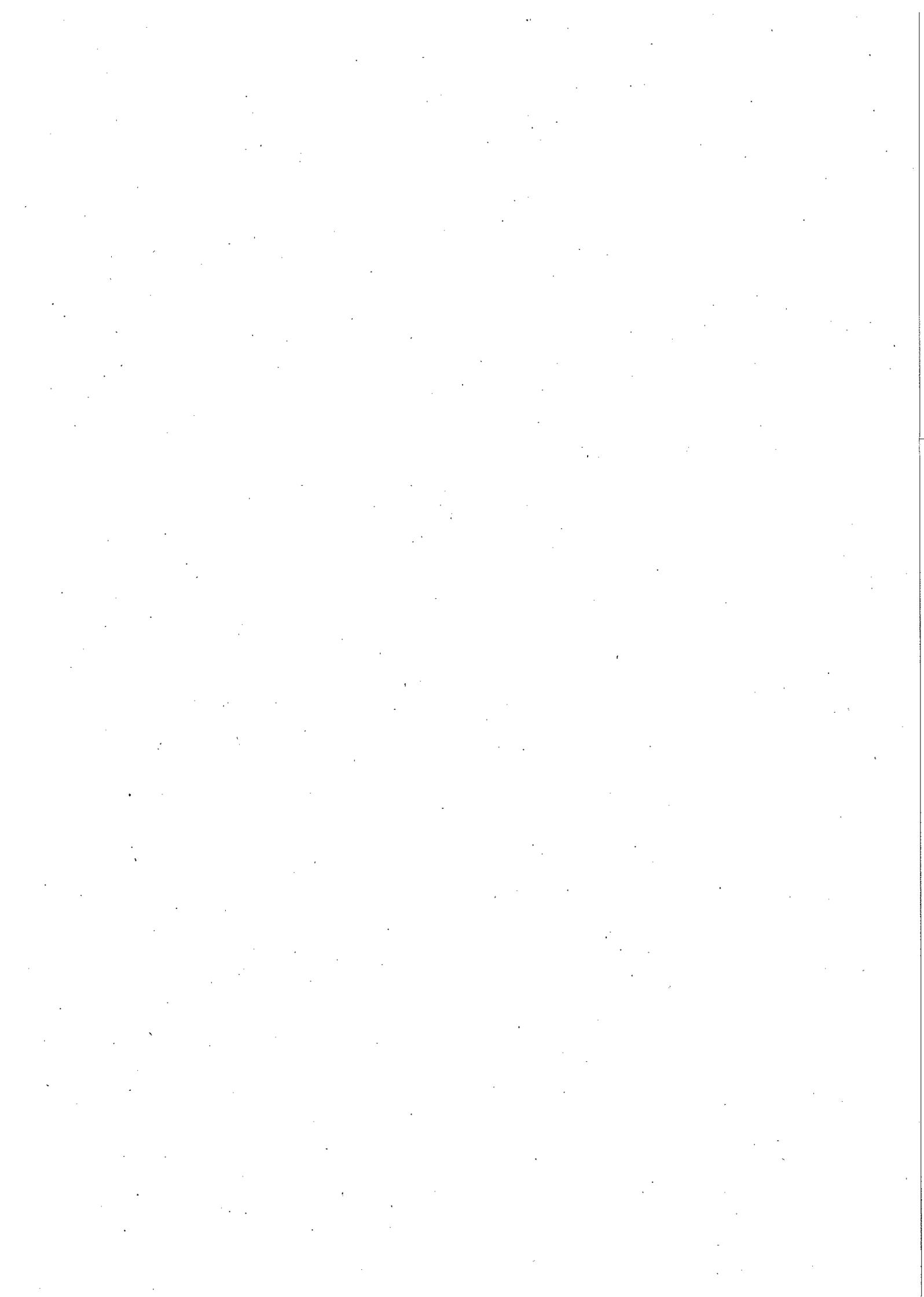
朝日新聞西部本社報道センター、熊本総局

第100号

第100号

2009年夏

1969年以降生まれにも水俣病の疑い



水俣病 千人規模調査へ

民間医師、09年以降出生を念頭

水俣病未認定患者の救済問題で、民間医師ら約9月、熊本水俣市など水俣病が発生した水俣湾沿岸地域で、千人規模の住民健康調査を実施する。自ら「新たな水俣病の発生はない」としている09年以降に生まれた若い世代の被害の実態などを明らかにするが目的だ。

31面に掲載記事
「水俣病では、7割の患者団体が熊本県民会連合医師団などとする「不妊火焼沿道市民健康調査」の実行委員会は発足した。水俣地区を始め、全国の内科と神経内科を中心とした医師1000人に参加を呼びかける。

香川県には、早く水俣病患者を診察し、著作でも多くの水俣病を知らせた熊本学園大の原田正樹教授が昨年、熊本大のかつての水俣病研究班員で原田教授とも共同研究を行ってきた藤村利雄医師、現地で診察歴が長い高岡敏医師らと、具体的な診断方法を今後詰めていく。

調査は8月、21日、不妊火焼沿岸の住民千人が目標だ。参加を呼びかける隣県医師らの拠拠や地区の公民館などを拠点に診察する。実行委員会に当たる全日本民生医療協議連合会の橋本健夫・事務局次長は7日、東京で記者会見を開いた。調査で、

加齢企業やりの被害者は「非水俣を止めた後の09年以降に生まれた人たちにも、患者が相当数いるとみられること」を指摘。「救済されなければならぬ人がまだたくさんいる。これを専門家がわかるわけにはいかない」と訴えた。

実行委員会は「09年以降の若い世代の問題などを念頭に置いているが、健康不安を抱える人が幅広く足を踏んでほしい」と呼びかけている。

水俣病未認定患者の救済法案は、7日に参議院環境委員会でも可決され、8日の参院本会議でも可決、成立する見通いだ。

朝日新聞社 無断複製転載を禁じます。すべでの内容は日本の著作権法と並行して国際条約により保護されています。

水銀禍 30代にまで

水俣の原因企業やりの被害者は「非水俣を止めた後の09年以降に生まれた人たちにも、患者が相当数いるとみられること」を指摘。「救済されなければならぬ人がまだたくさんいる。これを専門家がわかるわけにはいかない」と訴えた。

隠された水俣病

食事といえれば魚70年代も

「まさか自分が」

水俣病の原因企業やりの被害者は「非水俣を止めた後の09年以降に生まれた人たちにも、患者が相当数いるとみられること」を指摘。「救済されなければならぬ人がまだたくさんいる。これを専門家がわかるわけにはいかない」と訴えた。

水俣病未認定患者の救済法案は、7日に参議院環境委員会でも可決され、8日の参院本会議でも可決、成立する見通いだ。

被害全体像国は把握を

水俣病未認定患者の救済法案は、7日に参議院環境委員会でも可決され、8日の参院本会議でも可決、成立する見通いだ。

水俣病未認定患者の救済法案は、7日に参議院環境委員会でも可決され、8日の参院本会議でも可決、成立する見通いだ。

68年	水俣病問題の主犯とされたと認定
69年	水俣病が原因と認定
70年	水俣病が原因と認定
71年	水俣病が原因と認定
72年	水俣病が原因と認定
73年	水俣病が原因と認定
74年	水俣病が原因と認定
75年	水俣病が原因と認定
76年	水俣病が原因と認定
77年	水俣病が原因と認定
78年	水俣病が原因と認定
79年	水俣病が原因と認定
80年	水俣病が原因と認定
81年	水俣病が原因と認定
82年	水俣病が原因と認定
83年	水俣病が原因と認定
84年	水俣病が原因と認定
85年	水俣病が原因と認定
86年	水俣病が原因と認定
87年	水俣病が原因と認定
88年	水俣病が原因と認定
89年	水俣病が原因と認定
90年	水俣病が原因と認定
91年	水俣病が原因と認定
92年	水俣病が原因と認定
93年	水俣病が原因と認定
94年	水俣病が原因と認定
95年	水俣病が原因と認定
96年	水俣病が原因と認定
97年	水俣病が原因と認定
98年	水俣病が原因と認定
99年	水俣病が原因と認定
00年	水俣病が原因と認定
01年	水俣病が原因と認定
02年	水俣病が原因と認定
03年	水俣病が原因と認定
04年	水俣病が原因と認定
05年	水俣病が原因と認定
06年	水俣病が原因と認定
07年	水俣病が原因と認定
08年	水俣病が原因と認定
09年	水俣病が原因と認定
10年	水俣病が原因と認定
11年	水俣病が原因と認定
12年	水俣病が原因と認定
13年	水俣病が原因と認定
14年	水俣病が原因と認定
15年	水俣病が原因と認定
16年	水俣病が原因と認定
17年	水俣病が原因と認定
18年	水俣病が原因と認定
19年	水俣病が原因と認定
20年	水俣病が原因と認定
21年	水俣病が原因と認定
22年	水俣病が原因と認定
23年	水俣病が原因と認定
24年	水俣病が原因と認定
25年	水俣病が原因と認定
26年	水俣病が原因と認定
27年	水俣病が原因と認定
28年	水俣病が原因と認定
29年	水俣病が原因と認定
30年	水俣病が原因と認定
31年	水俣病が原因と認定
32年	水俣病が原因と認定
33年	水俣病が原因と認定
34年	水俣病が原因と認定
35年	水俣病が原因と認定
36年	水俣病が原因と認定
37年	水俣病が原因と認定
38年	水俣病が原因と認定
39年	水俣病が原因と認定
40年	水俣病が原因と認定
41年	水俣病が原因と認定
42年	水俣病が原因と認定
43年	水俣病が原因と認定
44年	水俣病が原因と認定
45年	水俣病が原因と認定
46年	水俣病が原因と認定
47年	水俣病が原因と認定
48年	水俣病が原因と認定
49年	水俣病が原因と認定
50年	水俣病が原因と認定
51年	水俣病が原因と認定
52年	水俣病が原因と認定
53年	水俣病が原因と認定
54年	水俣病が原因と認定
55年	水俣病が原因と認定
56年	水俣病が原因と認定
57年	水俣病が原因と認定
58年	水俣病が原因と認定
59年	水俣病が原因と認定
60年	水俣病が原因と認定
61年	水俣病が原因と認定
62年	水俣病が原因と認定
63年	水俣病が原因と認定
64年	水俣病が原因と認定
65年	水俣病が原因と認定
66年	水俣病が原因と認定
67年	水俣病が原因と認定
68年	水俣病が原因と認定
69年	水俣病が原因と認定
70年	水俣病が原因と認定
71年	水俣病が原因と認定
72年	水俣病が原因と認定
73年	水俣病が原因と認定
74年	水俣病が原因と認定
75年	水俣病が原因と認定
76年	水俣病が原因と認定
77年	水俣病が原因と認定
78年	水俣病が原因と認定
79年	水俣病が原因と認定
80年	水俣病が原因と認定
81年	水俣病が原因と認定
82年	水俣病が原因と認定
83年	水俣病が原因と認定
84年	水俣病が原因と認定
85年	水俣病が原因と認定
86年	水俣病が原因と認定
87年	水俣病が原因と認定
88年	水俣病が原因と認定
89年	水俣病が原因と認定
90年	水俣病が原因と認定
91年	水俣病が原因と認定
92年	水俣病が原因と認定
93年	水俣病が原因と認定
94年	水俣病が原因と認定
95年	水俣病が原因と認定
96年	水俣病が原因と認定
97年	水俣病が原因と認定
98年	水俣病が原因と認定
99年	水俣病が原因と認定
00年	水俣病が原因と認定
01年	水俣病が原因と認定
02年	水俣病が原因と認定
03年	水俣病が原因と認定
04年	水俣病が原因と認定
05年	水俣病が原因と認定
06年	水俣病が原因と認定
07年	水俣病が原因と認定
08年	水俣病が原因と認定
09年	水俣病が原因と認定
10年	水俣病が原因と認定
11年	水俣病が原因と認定
12年	水俣病が原因と認定
13年	水俣病が原因と認定
14年	水俣病が原因と認定
15年	水俣病が原因と認定
16年	水俣病が原因と認定
17年	水俣病が原因と認定
18年	水俣病が原因と認定
19年	水俣病が原因と認定
20年	水俣病が原因と認定
21年	水俣病が原因と認定
22年	水俣病が原因と認定
23年	水俣病が原因と認定
24年	水俣病が原因と認定
25年	水俣病が原因と認定
26年	水俣病が原因と認定
27年	水俣病が原因と認定
28年	水俣病が原因と認定
29年	水俣病が原因と認定
30年	水俣病が原因と認定
31年	水俣病が原因と認定
32年	水俣病が原因と認定
33年	水俣病が原因と認定
34年	水俣病が原因と認定
35年	水俣病が原因と認定
36年	水俣病が原因と認定
37年	水俣病が原因と認定
38年	水俣病が原因と認定
39年	水俣病が原因と認定
40年	水俣病が原因と認定
41年	水俣病が原因と認定
42年	水俣病が原因と認定
43年	水俣病が原因と認定
44年	水俣病が原因と認定
45年	水俣病が原因と認定
46年	水俣病が原因と認定
47年	水俣病が原因と認定
48年	水俣病が原因と認定
49年	水俣病が原因と認定
50年	水俣病が原因と認定
51年	水俣病が原因と認定
52年	水俣病が原因と認定
53年	水俣病が原因と認定
54年	水俣病が原因と認定
55年	水俣病が原因と認定
56年	水俣病が原因と認定
57年	水俣病が原因と認定
58年	水俣病が原因と認定
59年	水俣病が原因と認定
60年	水俣病が原因と認定
61年	水俣病が原因と認定
62年	水俣病が原因と認定
63年	水俣病が原因と認定
64年	水俣病が原因と認定
65年	水俣病が原因と認定
66年	水俣病が原因と認定
67年	水俣病が原因と認定
68年	水俣病が原因と認定
69年	水俣病が原因と認定
70年	水俣病が原因と認定
71年	水俣病が原因と認定
72年	水俣病が原因と認定
73年	水俣病が原因と認定
74年	水俣病が原因と認定
75年	水俣病が原因と認定
76年	水俣病が原因と認定
77年	水俣病が原因と認定
78年	水俣病が原因と認定
79年	水俣病が原因と認定
80年	水俣病が原因と認定
81年	水俣病が原因と認定
82年	水俣病が原因と認定
83年	水俣病が原因と認定
84年	水俣病が原因と認定
85年	水俣病が原因と認定
86年	水俣病が原因と認定
87年	水俣病が原因と認定
88年	水俣病が原因と認定
89年	水俣病が原因と認定
90年	水俣病が原因と認定
91年	水俣病が原因と認定
92年	水俣病が原因と認定
93年	水俣病が原因と認定
94年	水俣病が原因と認定
95年	水俣病が原因と認定
96年	水俣病が原因と認定
97年	水俣病が原因と認定
98年	水俣病が原因と認定
99年	水俣病が原因と認定
00年	水俣病が原因と認定
01年	水俣病が原因と認定
02年	水俣病が原因と認定
03年	水俣病が原因と認定
04年	水俣病が原因と認定
05年	水俣病が原因と認定
06年	水俣病が原因と認定
07年	水俣病が原因と認定
08年	水俣病が原因と認定
09年	水俣病が原因と認定
10年	水俣病が原因と認定
11年	水俣病が原因と認定
12年	水俣病が原因と認定
13年	水俣病が原因と認定
14年	水俣病が原因と認定
15年	水俣病が原因と認定
16年	水俣病が原因と認定
17年	水俣病が原因と認定
18年	水俣病が原因と認定
19年	水俣病が原因と認定
20年	水俣病が原因と認定
21年	水俣病が原因と認定
22年	水俣病が原因と認定
23年	水俣病が原因と認定
24年	水俣病が原因と認定
25年	水俣病が原因と認定
26年	水俣病が原因と認定
27年	水俣病が原因と認定
28年	水俣病が原因と認定
29年	水俣病が原因と認定
30年	水俣病が原因と認定
31年	水俣病が原因と認定
32年	水俣病が原因と認定
33年	水俣病が原因と認定
34年	水俣病が原因と認定
35年	水俣病が原因と認定
36年	水俣病が原因と認定
37年	水俣病が原因と認定
38年	水俣病が原因と認定
39年	水俣病が原因と認定
40年	水俣病が原因と認定
41年	水俣病が原因と認定
42年	水俣病が原因と認定
43年	水俣病が原因と認定
44年	水俣病が原因と認定
45年	水俣病が原因と認定
46年	水俣病が原因と認定
47年	水俣病が原因と認定
48年	水俣病が原因と認定
49年	水俣病が原因と認定
50年	水俣病が原因と認定
51年	水俣病が原因と認定
52年	水俣病が原因と認定
53年	水俣病が原因と認定
54年	水俣病が原因と認定
55年	水俣病が原因と認定
56年	水俣病が原因と認定
57年	水俣病が原因と認定
58年	水俣病が原因と認定
59年	水俣病が原因と認定
60年	水俣病が原因と認定
61年	水俣病が原因と認定
62年	水俣病が原因と認定
63年	水俣病が原因と認定
64年	水俣病が原因と認定
65年	水俣病が原因と認定
66年	水俣病が原因と認定
67年	水俣病が原因と認定
68年	水俣病が原因と認定
69年	水俣病が原因と認定
70年	水俣病が原因と認定
71年	水俣病が原因と認定
72年	水俣病が原因と認定
73年	水俣病が原因と認定
74年	水俣病が原因と認定
75年	水俣病が原因と認定
76年	水俣病が原因と認定
77年	水俣病が原因と認定
78年	水俣病が原因と認定
79年	水俣病が原因と認定
80年	水俣病が原因と認定
81年	水俣病が原因と認定
82年	水俣病が原因と認定
83年	水俣病が原因と認定
84年	水俣病が原因と認定
85年	水俣病が原因と認定
86年	水俣病が原因と認定
87年	水俣病が原因と認定
88年	水俣病が原因と認定
89年	水俣病が原因と認定
90年	水俣病が原因と認定
91年	水俣病が原因と認定
92年	水俣病が原因と認定
93年	水俣病が原因と認定
94年	水俣病が原因と認定
95年	水俣病が原因と認定
96年	水俣病が原因と認定
97年	水俣病が原因と認定
98年	水俣病が原因と認定
99年	水俣病が原因と認定
00年	水俣病が原因と認定
01年	水俣病が原因と認定
02年	水俣病が原因と認定
03年	水俣病が原因と認定
04年	水俣病が原因と認定
05年	水俣病が原因と認定
06年	水俣病が原因と認定
07年	水俣病が原因と認定
08年	水俣病が原因と認定
09年	水俣病が原因と認定
10年	水俣病が原因と認定
11年	水俣病が原因と認定
12年	水俣病が原因と認定
13年	水俣病が原因と認定
14年	水俣病が原因と認定
15年	水俣病が原因と認定
16年	水俣病が原因と認定
17年	水俣病が原因と認定
18年	水俣病が原因と認定
19年	水俣病が原因と認定
20年	水俣病が原因と認定
21年	水俣病が原因と認定
22年	水俣病が原因と認定
23年	水俣病が原因と認定
24年	水俣病が原因と認定

「見えぬ患者まだいる」 「研究無視し非科学的」

「見えぬ患者」は、水俣病発症の潜伏期、あるいは発症後、検査で陽性反応を示さない「見えぬ患者」の存在、疑わしきものとして、40年以上経った水俣病研究でも、水俣病の原因物質であるメチル水銀の体内濃度を測定し、水俣病と診断された患者（水俣病患者）の「見えぬ患者」の存在を明らかにした。

（山口晋也、水俣病研究センター）

隠された水俣病

識者ら教法批判

「見えぬ患者」の存在、疑わしきものとして、40年以上経った水俣病研究でも、水俣病の原因物質であるメチル水銀の体内濃度を測定し、水俣病と診断された患者（水俣病患者）の「見えぬ患者」の存在を明らかにした。

（山口晋也、水俣病研究センター）

不安子には見えぬ

隠された水俣病

「見えぬ患者」の存在、疑わしきものとして、40年以上経った水俣病研究でも、水俣病の原因物質であるメチル水銀の体内濃度を測定し、水俣病と診断された患者（水俣病患者）の「見えぬ患者」の存在を明らかにした。

（山口晋也、水俣病研究センター）

「私の年で」迷い受診

38歳シングルマザー

「見えぬ患者」の存在、疑わしきものとして、40年以上経った水俣病研究でも、水俣病の原因物質であるメチル水銀の体内濃度を測定し、水俣病と診断された患者（水俣病患者）の「見えぬ患者」の存在を明らかにした。

（山口晋也、水俣病研究センター）

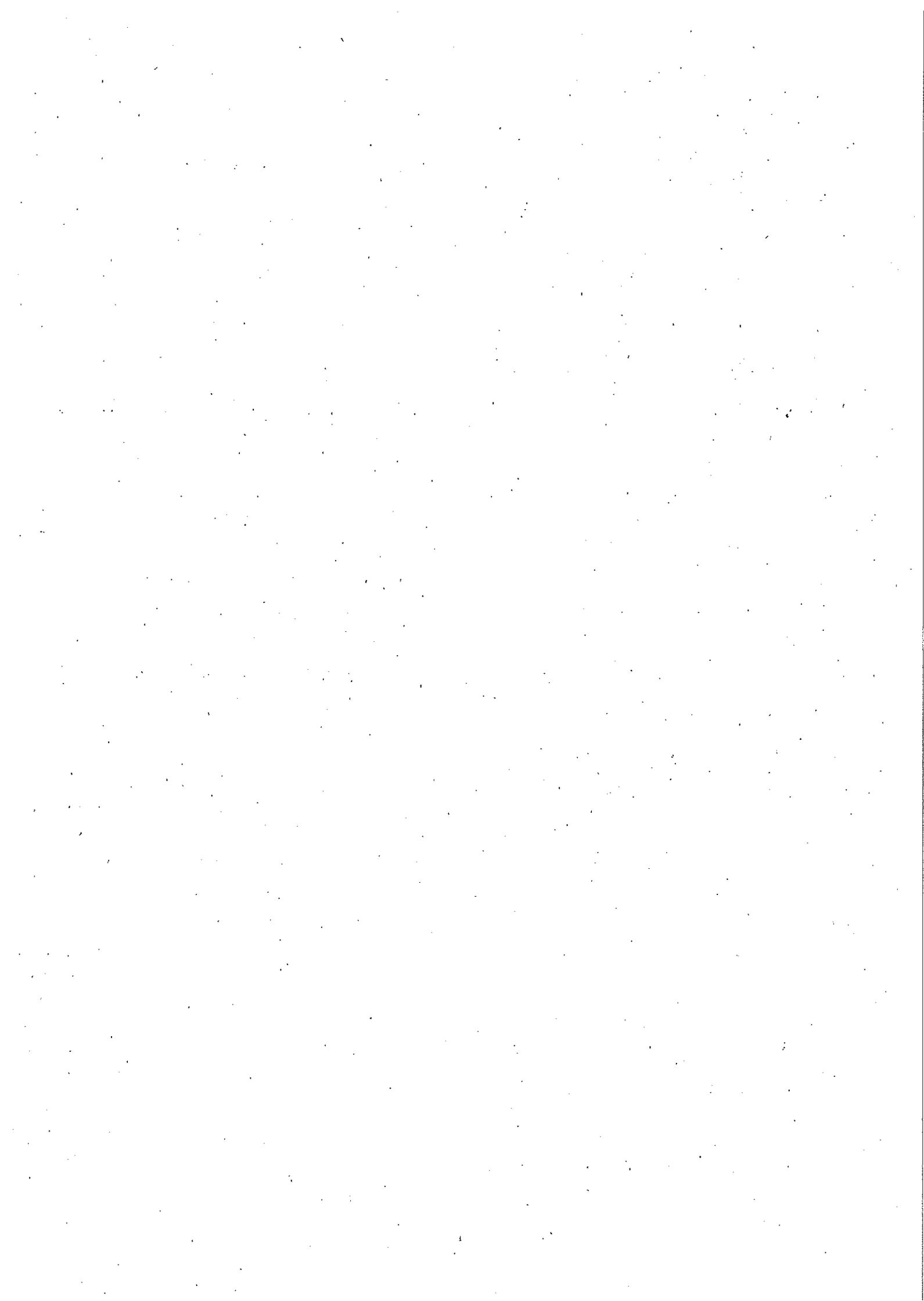


悪化後、生活の糧は

「見えぬ患者」の存在、疑わしきものとして、40年以上経った水俣病研究でも、水俣病の原因物質であるメチル水銀の体内濃度を測定し、水俣病と診断された患者（水俣病患者）の「見えぬ患者」の存在を明らかにした。

（山口晋也、水俣病研究センター）

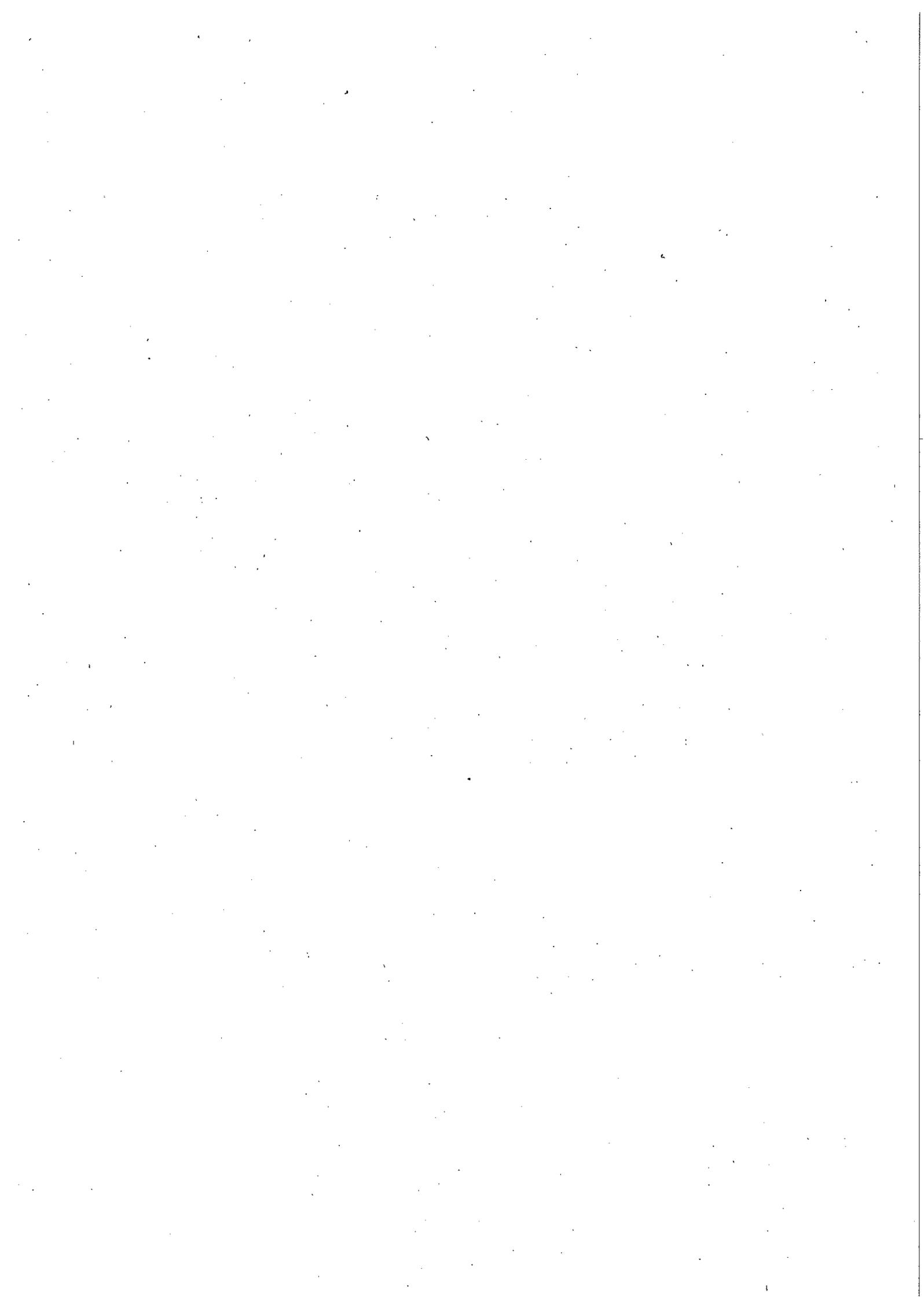
朝日新聞社、無断複製を禁じます。すべての内容は日本の著作権法に基づいて保護されています。



Ⅱ期

2009年秋～冬

指定地域外にも水俣病の疑い



水俣病検診 1700人殺到

民間医ら主催へ

水俣病被害の実態把握を目的とした「住民健康調査」が20、21の両日、熊本、鹿兒島両県にまたがる不知火海沿岸地域で行われる。民間の医師や七つの被害者団体などによる実行委員会の主催。1450人が受診する見通しだ。

1956年に水俣病が公式確認されて以降、最大の検診となる。受診者は患者認定や救済に名乗り出ていない人が大半で、被害の年代的・地域的な広がりが新たに明らかになる可能性がある。

実行委員事務局によると、受診者は20代〜90代、手足や口のしびれ、耳鳴りなど何らかの自覚症状を訴えている。行政による患者認定や国の救済措置、訴訟参加などを求めたことのない人がほとんどという。

最も若い人は82年生まれの27歳。国は、チソツが有害な排水を止めた翌年の60年以降に生まれた人をあらゆる救済措置の対象から外しているが、受診者にはこの年代が約60人いるという。

さらに、認定制度や救済措置の指定地域外となっている熊本県の天草一円や鹿兒島県伊佐市の在任者も含まれる。

被害の年代・地域 拡大も

検診では水俣病の疑いがあるかどうかをその場で診断することから、事務局は被害の広がりを把握できるとみている。調査結果は、7月に成立した水俣病救済法の運用を決める政府と被害者側の協議にも影響しそうだ。

調査には、神経内科医を中心に全国から民間医140人が集まる。会場は熊本県水俣市や天草市など8市町の計17カ所。環境省の担当者も、国側として初めて現場の検診に立ち会う。

水俣病関係でこれまで最大だった検診は、第3次訴訟の原告団体などが87年11月に行い、1088人を診察。78%が「水俣病」や「水俣病の疑い」と診断された。

今回の検診の受診希望者は事務局が想定した1・7倍にあたる約1700人に上ったが、実際の受診者は受け入れ可能な数に絞った。事務局は今後、追加調査の実施を検討する考えだ。

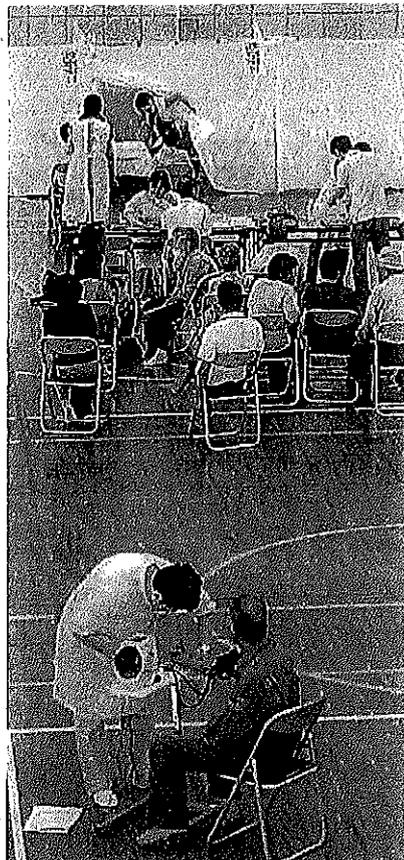
長年水俣病の診察に当たり、今回の検診にも参加する協立クリニック（水俣市）の高岡院長は調査の意義について「救済法は年代的・地域的な被害の広がりを調べないまま成立した。いかに根拠のない救済策かが明らかになるだろう」と話している。（原口晋也）

本来、国がやること

実行委員長の原田正徳医師の語。地域の「一斉検診は本来、国がやるべきことだ」

国がやるべきことへの潜在被害者が出てくるはずだ。60年以降生まれの被害者は、私自身も存在を確認しているが、それが改めてほしいと訴えている。

朝日新聞社 無断複製転載を禁じます。すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。



体育館で行われた住民健康調査。問診や血圧測定などが終わると、診察は白い布で覆われた区画で行われた（画像の一部を修整しています）＝20日午後2時19分、熊本県上天草市、山本北一郎撮影

水俣病集団検診始まる

年齢・地域 対象外からも

水俣病被害の実態把握を目的とした住民健康調査が20、21日、熊本、鹿兒島両県の不知火海沿岸地域で始まった。21日

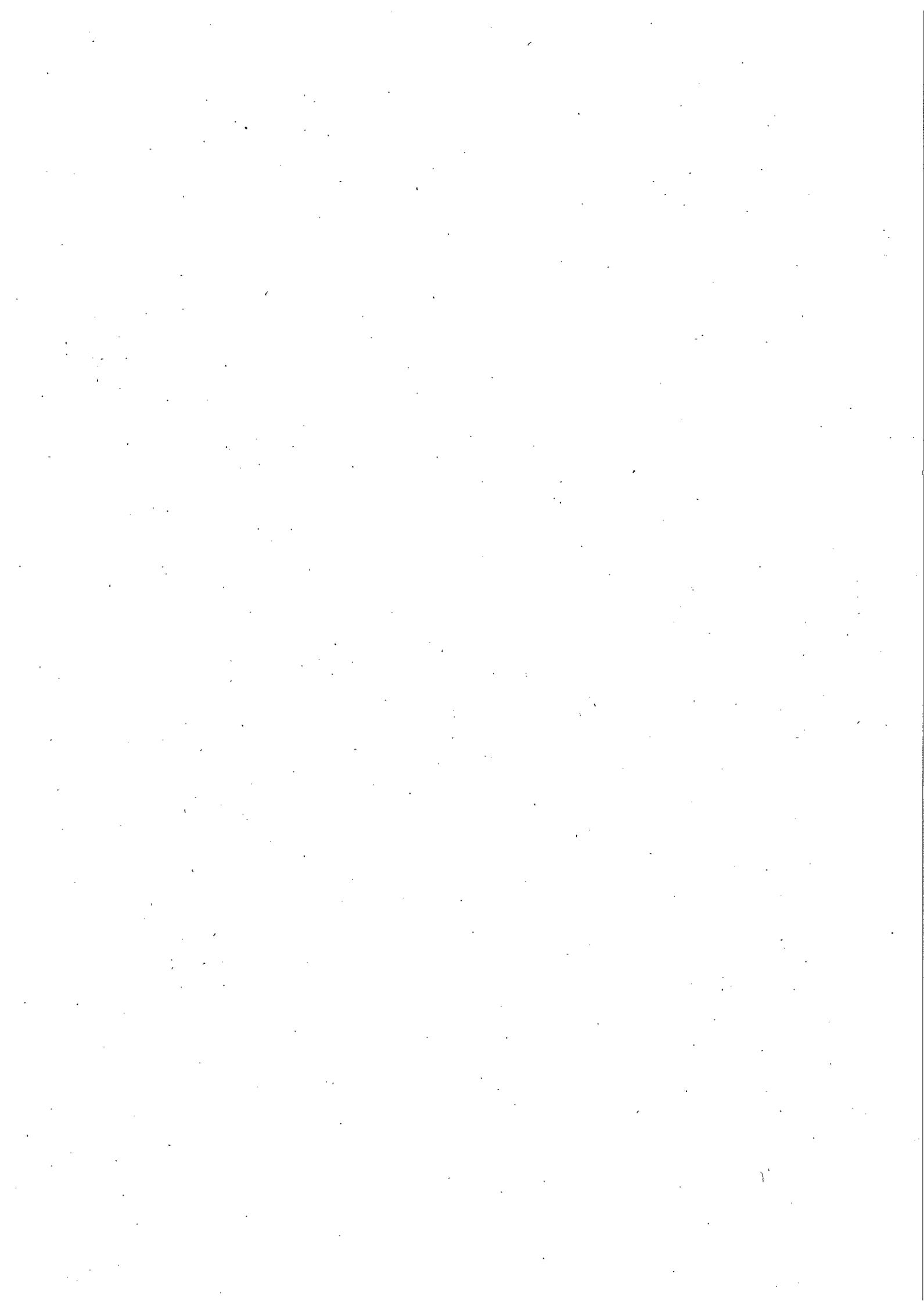
までに1450人が受診する過去最大規模の集団検診。初日は698人が受診した。受診者はこれまで患者認定や救済措置に名乗り出ていない人が大半で、国が被害の全体像を把握しないまま進めてきた水俣病行政の転換を迫るねらいがある。1123画に關係記事や医師らでつくる実行委員会が熊本県水俣市、天草市、鹿兒島県出水市など8市町の17会場無料で行う。全国から集まった医師140人と看護師、スタッフら計650人が、手足の感覚障害があるか、視野が狭くないかなど水俣病の症状の有無を調べる。今回の受診者には、公害健康被害補償法で水俣病被害の発生地と指定されている地域（熊本県北町、津奈木町、水俣市と、出水市の一部）や、医療費の自己負担分が無料となる保健手帳の交付対象地域の外に居住歴のある人が多数いる。国はチソツ水俣工場が有害な排水を止めた翌年の60年以降に生まれた人をあらゆる救済措置の対象から外しているが、受診者にはこの世代の人も約60人含まれる。実行委は検診で、こうした地域的・年代的被害の広がりを確認し、国による「横引き」の矛盾を明らかにしたいと考えている。

水俣病問題をめぐっては、未認定患者の救済法が7月成立。今回の調査結果が、救済対象の年齢や地域を決める際に影響を与える可能性もある。

Ⅲ期

2010年春～初夏

全容解明ほど遠い水俣病

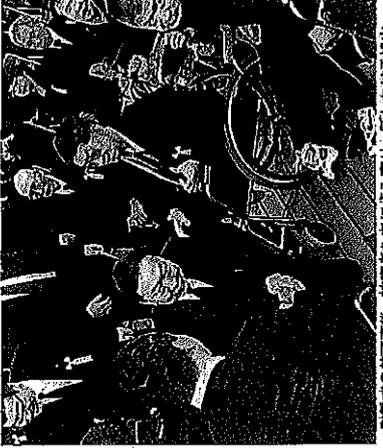


拡大に責任償い全う

水俣病 真相が謝罪

歴代初 慰霊式に出席

水俣病の発生原因を明らかにし、被害者や遺族に謝罪する歴代初となる慰霊式に出席し、「被害者や遺族に謝罪する責任を全うする」と述べた。歴代首相の中水俣病問題担当を責め、被害者や遺族に謝罪する責任を、11日、歴代初となる慰霊式に出席し、責任を全うする責任を述べた。



歴代初となる歴代首相の慰霊式に出席し、責任を全うする責任を述べた。歴代首相の中水俣病問題担当を責め、被害者や遺族に謝罪する責任を、11日、歴代初となる慰霊式に出席し、責任を全うする責任を述べた。

- ▶ 謝罪責任、水俣病発生原因を明らかにし、被害者や遺族に謝罪する責任を全うする責任を述べた。
- ▶ 水俣病発生原因を明らかにし、被害者や遺族に謝罪する責任を全うする責任を述べた。
- ▶ 水俣病発生原因を明らかにし、被害者や遺族に謝罪する責任を全うする責任を述べた。
- ▶ 水俣病発生原因を明らかにし、被害者や遺族に謝罪する責任を全うする責任を述べた。
- ▶ 水俣病発生原因を明らかにし、被害者や遺族に謝罪する責任を全うする責任を述べた。

真相「祈りの言葉」
(神戸)

歴代首相の中水俣病問題担当を責め、被害者や遺族に謝罪する責任を、11日、歴代初となる慰霊式に出席し、責任を全うする責任を述べた。

年	被害者数	賠償金
1956年	100人	10億円
1977年	1000人	100億円
1985年	10000人	1000億円
2004年	100000人	10000億円
2008年	100000人	10000億円
2010年	100000人	10000億円

周冊の目ためらう申請

水俣病 54年目の「教訓」

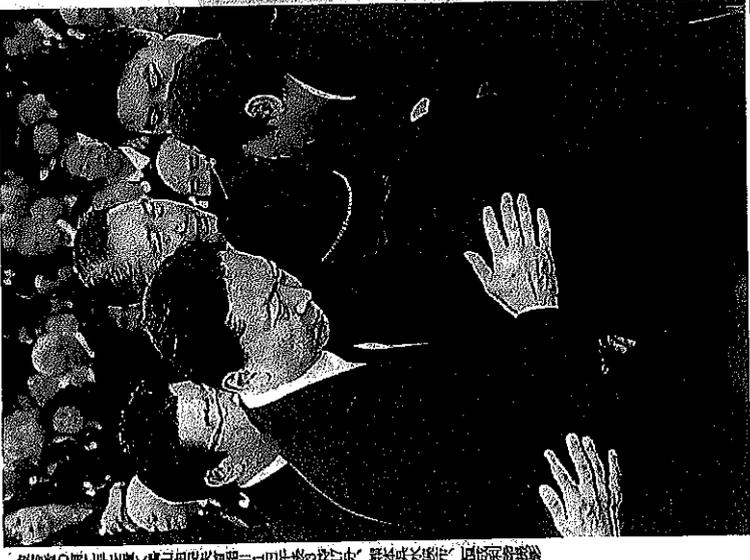
水俣病発生から54年経ち、被害者や遺族に謝罪する責任を全うする責任を述べた。

歴代首相の中水俣病問題担当を責め、被害者や遺族に謝罪する責任を、11日、歴代初となる慰霊式に出席し、責任を全うする責任を述べた。

水俣病の発生原因を明らかにし、被害者や遺族に謝罪する責任を全うする責任を述べた。

水俣病の発生原因を明らかにし、被害者や遺族に謝罪する責任を全うする責任を述べた。

言葉では癒えない



被害者の声に耳を傾ける山田正樹。水俣病被害者支援センターの職員らと交流する。

水俣病被害者、真相と交流

「念願の真相」の報告が、被害者の心を癒した。山田正樹が、被害者らと交流する。水俣病被害者支援センターの職員らと交流する。水俣病被害者支援センターの職員らと交流する。

「念願の真相」の報告が、被害者の心を癒した。山田正樹が、被害者らと交流する。水俣病被害者支援センターの職員らと交流する。

水銀調査

線引き論議に一石

水俣病 被害者「救済拡大を」

水俣病の被害者救済の不利な線引きは、1970年代に定まった。無差別に高濃度の水俣病を患った人々を救済するべきだ。水俣病の被害者らは、救済の枠組みを拡大するよう求めた。水俣病の被害者らは、救済の枠組みを拡大するよう求めた。

「念願の真相」の報告が、被害者の心を癒した。山田正樹が、被害者らと交流する。水俣病被害者支援センターの職員らと交流する。

朝日新聞社 無断複製を禁じます。すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約に基づき保護されています。

分社化後も 補償は不変

水俣病の賠償請求は、分社化後も不変。水俣病の賠償請求は、分社化後も不変。水俣病の賠償請求は、分社化後も不変。

行政、過ち検証を

水俣病被害者救済の行政、過ちを検証。水俣病被害者救済の行政、過ちを検証。水俣病被害者救済の行政、過ちを検証。

窓口を閉ざすな

水俣病被害者救済の窓口を閉ざすな。水俣病被害者救済の窓口を閉ざすな。水俣病被害者救済の窓口を閉ざすな。

